



寒さが身にしみる季節になりました。家族やお仲間であっかい部屋に集まってあっかい鍋をいただきたいですね！

1. 伊那市環境展に出展しました



はし作り体験の様子

平成28年10月2日に環境学生委員6名、職員2名が、伊那市主催の「伊那市環境展2016」に演習林間伐材を利用したはし作りの体験ブースを出展しました。来場者にはし作りを体験してもらいながら、間伐をする理由や環境学生委員会の活動について伝えるいい機会になりました。親子で体験された方からは、「作ったはしをうちで使うのが楽しみです」「初めてかんなをかけました。力がいるけど楽しかったです」と感想をいただきました。

近隣の方と環境について交流する、とても有意義な時間を過ごしました。(農学部環境学生委員 難波 成恵)

2. 廃棄物最終処分場の視察に行きました

平成28年10月14日に愛知県瀬戸市にある廃棄物最終処分場のクリーン開発株式会社へ環境学生委員2名、職員4名が視察に行きました。そこは、広域の産業、一般廃棄物を指定中間処分施設から搬入され、埋立処理を行う施設でした。



廃棄物最終処分場埋立地の入口

施設についての紹介ビデオを鑑賞後、担当の方に埋立地、污水処分場をご案内いただきました。広大な敷地、管理が徹底された埋立方法、廃棄物からの染出水を浄化して一般河川へ返還する仕組みを教わり、行き届いているなど思いました。埋立地は、全区画完了後に植樹をして森林化されると伺い、有意義な対策だと思いました。廃棄物の臭気拡散防止対策として、消臭剤を噴霧するエアーカーテンを設置しており、施設周辺への配慮がなされ



廃棄物最終処分場污水処分場

れていました。近隣住民とも施設での催物等でコミュニケーションを積極的に取られていて、理解を得ているとのことでした。

私たちが普段出しているゴミを処理するために、たくさんの人が働き、環境への配慮がなされているとわかりました。また、埋立地の確保は大変な問題なので、少しでもゴミを削減する努力を日々継続していきたいと感じました。(農学部環境学生委員長 丹下美咲)

3. 冬を迎えるにあたり

11月下旬に全国的に積雪を観測したことをきっかけに寒さが増すかと身構えておりましたが、寒さの進行は足踏みしております。本格的な寒さが続くと、美しい冬景色を興じる一方で、家計も健康も環境も影響を受ける季節が来たなど思慮にふけることがあります。伊那キャンパスは長野県の南部に位置していながら、冬は降雪が多く最低気温が氷点下を切るの

が珍しくない厳しい寒さに向き合う環境です。伊那で初めて冬を迎える皆様にはどうか、水道の凍結防止対策, 暖房器具による電力消費対策, ウォームビズをそれぞれにあった方法で取り組んでいただけたらと思います。伊那市環境展に長年出展されている方が「無理なく継続することが地球と仲良くする最良策だ」とおっしゃっていました。環境への配慮については効果がすぐに出るものではなく, ちょっとやめでも大丈夫かな, という考えが浮かぶときがあります。無理なく地道に継続する力を培っていきたいと思います。(EMS事務局)

農学部環境ニュースに関するご意見・ご質問・投稿記事などがございましたら

EMS事務局：agri-eco@shinshu-u.ac.jpへご連絡ください